



歴史を重ねて

校長 尾崎 淳一

校長室を訪れたことのある竜北生は、目にしたのではないのでしょうか。壁面に飾ってある竜北中学校の航空写真を。開校から40周年まで、10年ごとの学校とその周辺の移り変わりが、よく分かるようになっていきます。狭い校長室では定員オーバーになってしまうので、竜北生の皆さんに3枚の写真を限定公開いたします。



3枚の左側の写真が、開校時「1977年(昭和52年)」のもので、学校の周りには田畑が多く存在しています。よく見ると、北校舎も短いことが分かりますね。名鉄三河線が南側を通っているため、グラウンドは複雑な形をしています。

真ん中は、「1996年(平成8年)」の開校20周年の写真になります。武道場が建てられ、北校舎も増築されています。体育館の屋根は、銀色に光り輝いています。グラウンドの周囲に植えられた樹木も、すくすくと育ってきましたね。

一番右側は、今から約10年前の開校40周年時、「2016年(平成28年)」の竜北中学校です。竜北生の皆さんが、小学校に入学する前の時代ですね。北校舎の屋上には、太陽光発電のパネルが設置されました。グラウンド南側の土が入れ替えられ、テニスコートやバスケットコートの配置も変わっています。周辺も住宅が増えています。

さて、来年の「2026年(令和8年)」は、竜北中学校の開校50周年に当たる大きな節目の年となるため、記念式典を開催する予定です。細かい内容は、これから計画していくのですが、今回も航空写真を撮影したいと考えています。10年前と比べても、名鉄三河知立駅の移設やハンドボールコートの増設、住宅のさらなる増加など、すでに多くの変化があります。これまでの写真と比べてみると、きっと感慨深いことでしょう。現在、生徒会を中心に進めている「竜北中マスコットキャラクター」にも、いろいろと活躍していただく予定です。私の「イチオシキャラ」は、第15号でお知らせしたとおりです。

開校50周年に向けて、竜北生の皆さんにも、いろいろと知恵やアイデアをいただきたいと思いますので、ご協力をお願いします。ちなみに、私の「生誕50周年記念」は、特にイベントもなく、竜北生の皆さんが知らない間に過ぎ去ってしまいました……。

9月、暑い中ですが、竜北中学校が再び動き出しました。体育大会や文化祭、そして普段の竜北ライフにおいて、皆さんの輝く姿を楽しみにしています。「竜北生、Go!!」

若手教員の挑戦を受けて、僅か30分だけソフトテニスの勝負をしました。翌日から右肩が動かなくなり、治療院で荒療治を受け、テーピングで固められました。1週間経っても違和感あり。「昔取った杵柄」は危険と自覚しました。保護者の皆様、9月からよろしく願いいたします。「竜北生」を見習って、元気に頑張っていこうと思っています。

(令和7年9月3日)